

社会福祉法人 長幼会
令和5年度 事業報告書



心を支える 支え合う「心の花」

目 次

1	はじめに	1
2	令和5年度事業報告	1
3	事業ならびにその運営状況.....	4
4	理事・監事・評議員	4
5	理事会の開催状況	5
6	評議員会の開催状況	6
7	各種委員会	6
8	一般経過報告	7
9	すくすく保育園事業報告	9
10	千丸台保育園事業報告	16
11	横浜みなとみらい保育園事業報告	22
12	玉川保育園事業報告	30
13	新井小学校放課後キッズクラブ事業報告	39

社会福祉法人 長幼会 令和5年度事業報告

【はじめに】

令和5年度は、社会福祉法人として果たすべき社会的責任を念頭にこれからの保育所の役割・機能のあるべき方向性と在り方を「中長期計画」に目標設定し、年次ごとに成果と課題を確認し、目標達成に向け努めてきました。

様々な園行事や地域行事においては、コロナ感染症法の位置づけが5類感染症に見直されたことにより、コロナ禍以前の運営状況に戻りつつある中で、各園で豊かな取り組みを実施することができ、今後の運営にもつながる充実感と成果を得ることができました。

今後予想される厳しい保育園経営を考慮すると、保護者から選ばれる園、保育の「質」の向上が問われる社会情勢を強く感じる年度として、地域社会、保護者から「質の高い園」「質の高い保育士の在職」「安心して預けられる園」と評価され、求められる経営と運営を目指し取り組んできました。

とりわけ「次世代管理職の育成」「新採用職員研修の充実」「職員育成研修の強化」が「質」の高い保育園経営につながることから令和5年度事業計画の重点目標に掲げ取り組んできましたが、それぞれの目標について課題を残すこととなりました。

I 令和5年度事業報告

(1) 法人運営の持続的発展に向けた取り組み

- ① 理事会と評議員会の開催については、コロナ感染症が5類になった事から久々に対面会議ができ、ご意見の交換やご指導をいただき、貴重な指摘事項や参考意見を取り入れ運営・経営に図ることができました。
- ② 法人本部、機能体制を明確にし、「経理・総務・人事」「法制度改正・財務指標」「事故把握・リスクマネジメント」「職員管理・人事管理・職員育成」の本部組織体制を図り、各事業所への運営支援に努めました。各事業所との機能体制の明確性について課題が残りました。課題については共通理解と改善を図り、円滑な運営につなげていきます。

(2) 事業運営の透明性の向上に向けた取り組み

- ① 閲覧対象書類の拡大に伴い、情報公開の面から法人各事業所の情報を迅速かつ円滑に発信できるようハード・ソフトの両面から整備を図ることができました。
 - ・ 事業報告、事業計画、計算書類、現況報告、役員報酬基準など、公表に係るものについてコンプライアンスの面から速やかに対応するとともに、各種法改正の施行に合わせ関係規定の見直しを遅滞なく推進し、改定を実行しました。
 - ・ 情報公開を積極的に進めることから、法人ホームページ、採用ホームページなどソフト面からの見直し、作成に向けたPC周辺機器の整備を図ってきました。

年々増加する保育園に求められる責任を果たすため、また職員がより現場に寄り添った保育ができるための仕組みとしてICT（情報通信技術）の導入をすすめることができました。

インターネットを活用した保護者への情報提供、PCを活用したリモート面接やオンライン研修等、環境整備に伴う機材の導入とセキュリティ対策の整備にも努めました。

- ・ 広報誌の活用に関しては、必要に応じて都度対応してきました。

- ② 行政監査の定期的な受審と事業所の自己評価を進め、結果については、法人ホームページで公開してきました。他にも保護者アンケート等を取り入れ、事業運営の透明性の向上に努めてきました。

(3) 財務規律・基盤の強化

社会福祉法人会計基準に基づく会計処理はもとより、税理士法人アイ・パートナーズと連携を図り、支援を行ってきました。

- ・ 経理規程の遵守 ～ 適正かつ公正な資質管理の確保、会計処理に努めました。
- ・ 予算管理の徹底 ～ 月次の状況を踏まえ、補正予算の編成を行いました。

(4) 地域における公益的な取り組みの推進

地域における公益的な取り組みに向け、社会福祉充実計画（地域貢献を主とした推進計画）の設定について、独自に検討を進めてきましたが、昨年同様に立案までに至りませんでした。

(5) 新たな事業の開拓に向けた取り組みの推進

法人としての総合力を活かせる事業の創出に向け、意見交換やプラン提示をし、検討してきましたが、取り組みの推進までは至りませんでした。今後の課題と感じています。

(6) やりがい、働きがいのある法人を目指す取り組み

法人の理念「職員は豊かな愛情を持って児童に接し、児童の最善の利益を尊重するための知識の習得と技術の向上に努めます」の趣旨や目的を研修して、法人職員・保育士としてのやりがいと魅力「子どもの成長の支援からの喜び」「働く保護者からの感謝」が働きがいにつながっていくことについて研修を通して取り組んできました。

キャリアパスに基づく職務・賃金処遇の在り方について検討を進めてきましたが、方向性を見出すまでには至りませんでした。

(7) 福利厚生制度の充実

- ・ 職員の将来設計に向けた人事処遇制度充実に向けて検討を進めてきました。
- ・ 保育士宿舍借上げ支援制度に伴う借り上げ社宅の適正運用を図り、入居基準の見直しを行い、適切に遂行しました。
- ・ 「業務災害総合保険」（AIG 損害保険会社）に役員損害賠償責任を付加するなど、保障内容の充実に努めるとともに、保険請求業務の迅速化に努めてきました。
- ・ 余暇の有効活用に資するため「ハマふれんど」、「横浜スタジアム観戦チケット」、「横浜ビー・コルセアーズ観戦チケット」など施設との法人契約に基づき利用促進に向けた啓発を行ってきました。

II 重点目標の取り組みの成果と課題

(1) 質の高い園経営・運営

今後予想される厳しい園経営・運営の時代に向けて「保護者から選ばれる保育園」を目指し、これまでの経営・運営方法の視野を広げ「園の特色・特性・質の高い保育士、広報の工夫と拡大、地域連携・地域に根付いた園」を視野に、質の高い園経営・運営に取り組みました。

一つの取組みとして、各園の特性を活かした子育て支援の充実「保護者が子育ての喜びを感じられる支援」「地域に開かれた園」「関係機関との連携」を図り、保護者・地域・相談や学習の必要な園外保護者が子育て支援を受けられるように情報発信し、活動を推進しました。

(2) 次世代管理職の育成

法人組織、事業所の将来像と展望を考えると、次世代リーダーの育成に伴う中間管理職育成が大きな課題となる事から、学び続ける保育士が描く成長ビジョンとして、各キャリアステージにおける資質能力の獲得と向上の先に、管理職としての選択肢を設定できる環境設定に努めてきましたが、次世代管理職に求められるスキル、必要な資質・能力の研修計画を明確化、研修の充実を図ること等が課題として抽出されました。

(3) SDG's ~17の目標への取組み~

各事業所の特色を活かし17の項目の中で子どもたちが将来、社会に生き抜く力を身に付け、安心して生活をし、社会貢献できるために、子どもたちの意見や考えを大切に、目標やテーマを掲げ子どもたちの発想や創造性を取り入れ、保育支援・活動の中で培えることができました。

(4) 新採用職員の研修の充実

法人職員としての使命感を養うとともに、幅広い識見を習得し実践的な指導力向上を図り、育成すべき資質能力を明確にし、保育士生活の基盤を作るとともに保育力の向上と豊かな人間性の研修に各園の特色を活かし推進しました。さらに本部面接も行き、研修の進行や育成確認とサポートやアドバイスにも努めてきました

(5) 職員の育成研修の充実と質の高い保育士の育成

保護者から選ばれる園、質の高い園を目指す根幹として、職員の資質・能力の向上や人材育成に努め、より良い園経営と園目標達成を果たすため、育成計画と研修計画を提示し、推進してきました。

(6) コミュニケーション・人間関係の構築

法人の理念でもある「思いやり」を視点においた人間力向上研修を通して「目配り」「気配り」「心配り」のできる職員育成を目指し、豊かな心の育成と法人職員としての自覚と責任を持ち「チームワーク」を大切に、職員同士が仲間と認め合う人間形成に資する研修計画を図りました。

(7) 本部機能強化と部局への支援体制

本部機能・体制を明確にし、「経理・総務・人事」「法制度改正・財務指標」「事故把握・リスクマネジメント」「職員管理・人事管理・職員育成」の本部組織体制を図り、各事業所への運営支援に努めましたが、体制機能の共通理解や管理周知の徹底不足もあり、課題を残す結果となりました。

(8) 処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ・及び職員処遇改善費、職員処遇改善臨時特例事業の円滑な運営

子育て支援新制度の一環として、施設型給付における処遇改善に関わる加算が設定されています。

その中では、「キャリアパス要件」を満たす事が必修であり、法人としてのキャリアパスイメージを作成し、職員の経験年数に応じ、保育士に求められる資質や役割を明確にしなが、更なるステップアップにつながる研修体系と処遇を連動する仕組みを構築し、規定に基づき適切な処遇とそれに伴う育成に努めてきました。

Ⅲ 事業並びに運営状況

定款の定める法人事業目標達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブの運営に努めてきました。

保育所保育指針に基づき、改定において規定された保育の内容に関わる基本原則事項を踏まえ、長幼会各園における実情に応じて創意工夫を図り、保育所の機能及び質の向上に努め、地域や利用者から愛され信頼される保育園運営を目指し、保育目標「思いやりのあるたくましい子の育成」の達成に向け、職員一同、子どもの人権を守り、真心と愛情を持って子育て支援に取り組んできました。

【年間施設利用状況】 ※年間保育日数は、保育園 293 日、キッズクラブ 293 日

施設名	利用状況			
	定員	1日平均利用者数(人)	年間利用者数(人)	年間利用率(%)
すくすく保育園	59	49.4	14,486	83.8
千丸台保育園	100	71.5	20,939	71.5
横浜みなとみらい保育園	120	95.9	28,099	79.9
玉川保育園	135	95.3	27,928	70.6
新井小学校放課後キッズクラブ	78	30.2	8,644	38.7
計	492	342.3	100,096	---

少子化の加速や社会が変動していく時代に保護者・地域から「選ばれる保育園」「質の高い保育園」「質の高い保育士の在籍」と評価され、明るく希望の持てる長幼会の発展と展望を考え、これからの保育園の役割・機能のあるべき方向性と在り方を「中長期計画」(令和5年から令和9年の5年間)として設定しました。

Ⅳ 理事・監事・評議員

令和5年度の理事(6名)、監事(2名)、評議員(7名)は次の通りです。

理事長 水野 恭一
 業務執行理事 水野 尊仁
 理事 林 浩子 相原 陽子 木下 かおり 小林 純子
 監事 佐野 忠昭 太田 正行
 評議員 高橋 今朝次 栗原 泰光 箕輪 高博 八木下 和雄
 田中 千津子 澤 信一 田中 香南江

V 理事会の開催状況

定款に定める各条項に基づき、下記の理事会を開催しました。

(1) 第4回理事会 令和5年5月17日(水) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

議事： 第一号議案 令和4年度事業報告に関する件

第二号議案 令和4年度決算及び監事監査報告に関する件

第三号議案 役員(理事・監事)候補者の確認に関する件

第四号議案 玉川保育園大規模修繕工事施工会社入札に関する件

第五号議案 令和5年度定時評議員会の招集に関する件

その他(報告事項) 令和4年度第3回理事会議事録の確認

理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(2) 第1回理事会 令和5年6月14日(水) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

第一号議案 理事長の選定に関する件

第二号議案 業務執行理事の選定に関する件

(3) 第2回理事会 令和5年11月21日(火) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

第一号議案 神奈川県最低賃金引上げに伴う時給改定に関する件

第二号議案 給与規程一部改訂及び処遇改善臨時特例交付金取扱運営細則の廃止に関する件

第三号議案 令和5年度補正予算(案)に関する件

その他(報告事項) 玉川保育園大規模修繕工事経過報告

令和5年度一般指導監査(川崎市・横浜市)報告

令和4年度第4回理事会議事録の確認

令和5年度第1回理事会議事録の確認

理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 第3回理事会 令和6年3月4日(月) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名
 第一号議案 令和6年度事業計画（案）に関する件
 第二号議案 令和6年度予算（案）に関する件
 第三号議案 令和5年度第1回評議員会招集に関する件
 その他（報告事項） 玉川保育園大規模修繕工事経過報告
 令和5年度第2回理事会議事録の確認
 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

VI 評議員会の開催状況

定款第3章に定める各条項に基づき、下記の評議員会を開催しました。

- (1) 定時評議員会 令和5年6月14日（水） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」
 出席者数： 14名
 評議員： 5名
 理事： 6名 令和4年度事業説明の為、全理事出席
 監事： 2名
 法人職員： 1名
 第一号議案 令和4年度事業報告承認に関する件
 第二号議案 令和4年度決算及び監事監査報告の承認に関する件
 第三号議案 玉川保育園大規模修繕工事施工会社入札に係る対応の承認に関する件
 第四号議案 長幼会役員の任期満了に伴う役員選任の承認に関する件
 その他（報告事項） 令和5年度第2回評議員会議事録の確認
 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について
- (2) 第1回評議員会 令和6年3月22日（金） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」
 出席者数： 15名
 評議員： 6名
 理事： 6名 令和4年度事業説明の為、全理事出席
 監事： 2名
 法人職員： 1名
 第一号議案 令和6年度事業計画（案）の承認に関する件
 第二号議案 令和6年度予算（案）の承認に関する件
 第三号議案 玉川保育園大規模修繕工事施工会社入札に係る対応の承認に関する件
 第四号議案 長幼会役員の任期満了に伴う役員選任の承認に関する件
 その他（報告事項） 玉川保育園大規模修繕工事完了の報告
 玉川保育園屋上園庭ラバー工事経過報告
 令和5年度定時評議員会議事録の確認
 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

VII 各種委員会

令和5年度事業計画を遂行するため、下記委員会を開催して円滑な事業運営に努めてきました。

(1) 企画準備会

理事長の諮問機関として、日常的な課題はもとより、短期・中期に及ぶ課題の抽出や法改正に伴う

諸規程類の制定・改正の検討等を進め、事業の円滑な遂行に資することを目的に開催してきました。

整理した内容については、企画運営会議、園長会、理事会等に提起してきました。

(2) 企画運営会議

法人の理念・方針等基本的考えの共通理解を図り、管理者の意思統一を図る場として、法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について審議するとともに、理事会への提出議案や報告事項の確認の場として今年度は5回開催してきました。

(3) 合同園長会

法人各事業所（四つの保育園）の円滑な運営及び各種の連携を図ることから、各事業所の課題、人材育成に向けた研修・人事評価の運用に向けた課題、企画、イベントなどを持ち寄り、より良い園運営・保育を目指すことから相互の保育所運営に反映する場として年14回開催してきました。

(4) 合同主任会議

各園の保育に関する事項や行事・研修等の連絡調整を図るとともに、保育主任としての共通理解を踏まえる場として、また、主任として評価制度における人事評価制度（個人目標シート）の理解を深める研修などを含め、年4回開催も含め開催してきました。

(5) 合同看護師会

各園の感染症発生状況の把握、保健業務内容等の情報交換をはじめとし、園児、保護者、職員の健康促進のために保健的な見地からの援助・指導に反映することから年4回開催してきました。また、日常から各施設との情報共有を密にするとともに、横浜みなとみらい保育園の安全衛生委員会に参加し、感染症の感染拡大防止や公衆衛生の向上に努めてきました。

(6) 合同事務会議

各事業所における会計及び事務処理手続きの課題や法対応に絡む手続き等の共通理解を深め、会計処理や事務処理を円滑に進めるための場として年1回開催してきました。

(7) 合同栄養士会議

安全かつ衛生的な食事作りを基本とし、各園での取り組み情報を共有するとともに、一般指導監査で指摘された改善指導に対する各園の改善策について意見交換し、給食提供に反映することから年2回開催してきました。

VIII 一般経過報告

(1) 法人諸規程の見直し

神奈川県最低賃金の引き上げに伴い見直しを行った給与規程の届け出を10月に横浜北労働基準監督署に提出してきました。

また、「処遇改善臨時特例事業（3%賃上げ助成事業）」については、公定価格に組み込まれたことから給与規程の条文見直し、関連する「処遇改善臨時特例交付金取扱運営細則」を廃止することとしました。

(2) 令和5年度一般指導監査について

川崎市子ども未来局総務部、横浜市子ども青少年局総務部監査課、による社会福祉法人長幼会が運営する保育園に対する令和5年度一般指導監査が下記日程で実施されました。

① 一般指導監査

- | | |
|----------|--------------------------|
| ・玉川保育園 | 令和5年10月 3日（火） 9:00～17:00 |
| ・すくすく保育園 | 令和5年10月23日（月） 9:30～12:20 |

- ・千丸台保育園 令和5年10月26日(木) 9:30~12:00
- ・横浜みなとみらい保育園 令和5年10月26日(木) 14:00~17:00

結果、玉川保育園において文書指摘事項が2件ありましたが、指摘事項の改善を図り、川崎市子ども未来局に報告を行いました。

なお、具体的な保育、給食、経理等の改善に向けた指導については、即対応できるものについては即実施、検討が必要な事項は各保育園の企画会議等で検討し、改善を図ってきました。

- ② 新井小学校放課後キッズクラブについては、自己検査による書面審査として、添付ファイルに基づき調査資料を提出してきました。結果、運営に影響する指摘事項はありませんでした。

(3) 玉川保育園大規模修繕工事の実施

玉川保育園大規模修繕については、令和4年度に川崎市に事前協議書と見積書を提出し、令和5年度予算において川崎市大規模修繕の国の補助金事業として申請が確定したことから、法人として令和5年6月に5社に対し入札を実施し、(株)小保組に決定しました。その後、令和5年10月より修繕工事に着手し、令和6年2月28日竣工することができました。

(4) 神奈川県最低賃金の決定

2023年度神奈川県最低賃金の引上げ(10月1日実施予定)に伴う時給1,112円に対し、検証を行い、法人として時給を49円引き上げ1,120円としました

【神奈川県最低賃金】

1,112円(1,071円) R5.10.01より適用 (法人内最低賃金 1,120円)

※括弧内は令和4年度最低賃金

(5) 職員採用と定着に向けた取り組み

☆ 保育士就職相談会へのブース出展

職員採用に向け下記の学内就職相談会や保育士オンライン相談会にブース出展し、法人ブースに来訪した方内、2名の採用に繋がりました。

就職ブース	日 時	場所	来場者
田園調布学園大学 (学内就職相談会)	令和5年5月27日(土) 10:00~14:00	田園調布学園大学	3・4年生 計8名
保育士オンライン就職相談会 (えんみつけ)	令和5年8月20日(日) 14:00~16:00	すくすく保育園	3名
よこはまフォーラム	令和5年10月22日(日) 10:00~15:00	パシフィコ横浜 (アネックスホール)	3名
令和5年度第1回横浜市保 育士就職面接・相談会	令和5年11月23日(木) 13:00~16:00	新都市ホール	5名 (1名すくすく採用)
令和5年度第2回横浜市保 育士就職面接・相談会	令和6年1月27日(木) 13:00~16:00	関内新井ホール	2名 (1名すくすく採用)
保育士オンライン就職相談会 (えんみつけ)	令和6年3月16日(日) 14:00~16:00	横浜みなとみらい保 育園	2名

☆ はたらきがいサーベイの実施(委託事業者 ミイダス)

法人職員のはたらきがいを把握し課題を特定することで、不満の解消にいち早く取り組むことにより、働きやすい環境づくりの改善につなげることから、全職員を対象に「はたらきがいサーベイ」としてアンケート調査を令和5年11月に実施しました。



令和5年度 すくすく保育園 事業報告

定員59名 (在籍70名)

1 施設運営状況

近年の園を取り巻く環境は大きく変化し、入所に対する保護者の考え方も自身のライフスタイル合わせた園選びが優先される等、運営面では厳しい状況の中でのスタートでした、見学に来られる方には恵まれた環境の中での保育内容・育児・離乳食に関する説明等、丁寧に対応してきました。また、園の外に設置している掲示板を利用し園からの発信や近隣の郵便局へ園児の制作物を掲示してもらうなど、園を知ってもらう働きかけを地域とも連携しながら運営を進め、年度後半には定員の20%増の利用人数になり、委託費収入の安定に繋がりました。

職員体制については、横浜市の配置基準の中、職員間で連携を取りながら保育を進め、人件費支出を抑えてきましたが、産休・療休・気候に伴う体調不良・時短勤務等、余裕のない職員配置の中での運営となりました。委託費収入と人件費支出のバランスが毎年の課題です。早期に安定した運営ができるよう、地域・社会の動向に目を向け、配置基準を遵守しながら少し余裕を持たせるための職員採用を進めていきます。

2 利用者支援状況

* 連休明けにコロナが5類に移行し、少しずつ今までの日常が戻ってきた中で、日常生活・行事の見直しを都度行いながら、保育を進めてきました。

* 園の立地条件を利用し、園外保育・菜園活動・園の回りの生き物の飼育を通して四季の移り変わりを全身で感じたり、日々の保育の中で体験・発見・感動したことを受け止め、共有し保育に繋がってきました。

* 生き物については、新しい命との出会いを期待しつつ、成長の様子を子どもたちと一緒に共有し保育につなげています。



* 配慮・援助を要する子どもへの対応については、専門機関との連携をとりながら成長を援助するとともに、該当クラスに加配の職員を配置するなど安心して生活できる環境の整備に努め、

保護者との信頼関係を築きながら、子どもたちに対する共通理解を深められるよう取り組みました。情報は職員会議、記録書で共有し、全員が同じ対応をしてきました

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	34	34	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	427	35.6
女児	33	33	33	33	33	34	34	35	35	34	34	34	405	33.8
計	67	67	68	69	69	70	70	71	71	70	70	70	832	69.3

【年間利用者状況推移】（各年度3月1日）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	10	12	13	12	13	12	72
令和2年度	10	12	13	13	12	13	73
令和3年度	9	12	12	13	13	12	71
令和4年度	9	12	13	12	13	13	72
令和5年度	8	11	12	13	13	13	70

3 職員の状況

- * 職員体制については、産休や療休等で休みを取得した職員の補充が思うようにできず、余裕のない保育体制でしたが、法人内の千丸台保育園・玉川保育園の職員の協力も得ながら、横浜市の配置基準の中で連携を取りながら保育を進めてきました。
- * 園内改革は、3年目ということで「意識を変えていこう（ワクワク・挑戦・協力していこう）」をスローガンとして進めてきましたが、余裕のない職員体制の中では安全・安心な保育が中心となってしまったことから取り組みについて課題を残すこととなりました。
- * 業務改革の一つとして取り入れたICTの導入で、日々の業務は時間短縮に繋がりましたが、月の書類・個別の書類作成については、保育時間内に作成できるだけの職員配置ができなかった為、業務改革における書類作成については課題を残すこととなりました。

職名	令和5年4月1日の職員数				年間退任・就任												
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						就任計	退任計		
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B					
								就任	退任	就任	退任	就任	退任				
園長	1			1													
副園長	1			1													
保育士	14		5	19	1	5	1					2	1	4	6		
看護師	1			1													
栄養士	2			2													
調理員	1		3	4													
事務員	1			1													
保育補助												1					1
用務																	
嘱託医			2	2													
計	21	0	0	8	29	1	5	1	0	0	0	3	1	4	7		

※臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

※嘱託医は職員計に含まず。

4 施設整備状況

1・2階のホールに空気清浄機の設置を行いました。

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月3日	入園式	11月15日	焼き芋会
4月28日	子どもの日を祝う会	12月9日	発表会
6月3日	ふれあい祭り	12月12日	餅つき会
6月6日	じゃがいも堀り（澤さんの畑）	12月22日	お楽しみ会
6月13日	歯磨き指導（幼児）	1月11日	獅子舞
6月28日	プール開き	1月12日	だんご作り・どんど焼き
7月6日	七夕会	1月18日	お店屋さんごっこ
7月21日・22日	すくすくキャンプ（年長児）	1月26日	お別れ遠足（年長児）
9月4日	総合防災訓練	2月2日	節分会
9月7日	プール納め	2月11日	和太鼓成果発表会（年長児）
7日	敬老の日の集い	3月1日	ひな祭り会
10月7日	運動会	3月8日	バチ譲渡式
10月17日	さつまいも堀り	3月16日	卒園式
10月21日	幼児園外保育	3月25日	幼児お別れ会
10月31日	なかよしパーティーごっこ	3月29日	進級式

6 健康管理

常勤の看護師を配置し、必要に応じて園医・医療機関・関係機関と連絡を取り、子ども一人一人の発育発達に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。また、姉妹園で開催されている安全衛生委員会に参加し、産業医からの講義や資料等の情報を園の中で活かしていきました。

- ・看護師がクラスを回り、連絡帳の確認とともに健康観察・午睡明けの検温を行い必要に応じて保護者への連絡を行い、病気の早期発見に努めました。
- ・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行ってきました。
- ・全園児を対象に独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、園での病院受診の際に必要なに応じて手続きを行いました。
- ・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議・日々のミーティングで周知・演習を行いました。
- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）の対策として、0歳児は5分、1歳児は10分ごとにブレスチェックを行いチェック表に記入し予防に努めました。

<保育室衛生管理>

- ・クローラ水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を行いました。
- ・各保育室に加湿器と空気清浄機、1・2階のホールに空気清浄機を設置し、集団感染の予防に努めました。
- ・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液を設置し、感染予防に努めました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し、二次感染の防止に努めました。

<利用者>

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診 (年2回)	5月18日・10月10日	全園児
歯科健診 (年2回)	6月8日・10月26日	全園児
視聴覚検査 (年1回)	12月7日	3歳児
尿検査 (年1回)	5月17日	4・5歳児
身体測定 (毎月1回)	毎月15日頃	全園児
爪検査 (週1回)	毎週月曜日	全園児

<職員>

採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断 (年1回)	7月～8月	全職員
細菌検査 (月1回)	毎月	全職員
ノロウイルス検査 (月1回)	11月～3月	給食室
予防接種 (年1回)	10月～	全職員
健康チェック (毎月)	出勤時	全職員

7 栄養管理

月に1度、給食会議を行い喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。

- ・栄養士・保育士が連携し、子どもたちに食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体について関心が持てるような取り組みを行いました。
- ・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
- ・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・アレルギー児食・補食・夕食）の配布。また、補食・夕食については、家庭的な雰囲気の中で、楽しく・美味しく食べることができるよう取り組みました。
- ・離乳食は、保護者の方と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
- ・2回食（中期・後期）の提供について見直しを行いました。
- ・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。



(卒園のお祝いクッキー)



(行事食 子どもの日)

<給食室衛生管理>

- ・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿っての確認作業を行いました。
- ・調理室、ワゴン、冷蔵庫等の消毒を行い衛生管理に努めました。
- ・食器類は洗浄後、熱風庫にて保管し衛生管理に努めました。
- ・検品として、原材料・調理済み食品は、14日間保存（15日目に破棄）を行いました。

8 施設の衛生管理

- ・年に2回（春・秋）、害虫駆除を実施しました。

9 安全管理

- ・毎月1回（火災・地震・不審者・洪水等）様々な時間帯を想定し、抜き打ちで避難訓練実施。職員も交代で水消火器を使用しての消火訓練を行う中で、消火器の使い方を学びました。
- ・年1回（9月の総合防災訓練時）保護者に引き渡すことを想定し職員同士で引き渡し訓練を行いました。
- ・講師の方に来ていただき、災害時の対応についての研修を受講しました。
- ・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認を行いました。
- ・月1回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険個所の確認し、不具合箇所については修理を行いました。
- ・防災設備点検の実施（年2回）、4月の点検の際には都筑消防署に書類を届出しました。
- ・危機管理や災害時の連絡ツールとして、IP無線機を使用し、園だけでなく、法人内の各園とも連絡を取れるよう設定し、総合防災訓練時に活用しました。日々の保育では散歩や園外保育で活用しています。
- ・非常食糧の備蓄（全園児+職員）×3食×（1日～3日）分を分散備蓄で確保しています。
- ・110番通報システムを導入し、何かあった時（不審者の侵入等）には防犯ブザーを押すことで直接警察に通報が行き、迅速に対応してもらえるようになっています。

10 特別保育事業の実施

<一時保育事業>

一時保育は、6月より受け入れを行いました。

<地域活動推進事業>

- * 実習生・中高生の保育体験受け入れを行いました。
- * 世代間交流（都筑ハートフルステーション・横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）は、直接訪問することはできませんでしたが、敬老の日に子どもたちが制作したプレゼントを職員が届けに行きました。
- * 郵便局に園児が作った制作を毎月飾っていただくとともに、クリスマスの際には郵便局長がサンタクロースとして園児にプレゼントを届けに来てくれるなど、地域との関わりを深めることができました。
- * 保護者の方が参加しているボランティアグループの方に来ていただき、演奏会を開催しました。
- * リプリント（ボランティアグループ）の方に来ていただき、絵本の読み聞かせを行いました。
- * 園庭開放・育児相談を行いました。
- * 幼・保・小の連携では中川小学校・勝田小学校1年生や近隣保育園（やまた保育園・キッズフオレ）と交流を行いました。

<障害児保育事業>

- ・障害児認定の子どもについては、加配の職員を配置し、支援が必要な子どもについては、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、他の子どもたちとの生活を通して、共に成長できるよう、保育支援を行いました。
- ・春と秋の2回、北部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深め、職員会議で報告し、共通理解を図りました。

<延長保育事業>

- ・支給・認定区分に応じた保育時間内にお迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行うとともに、夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

<体操指導・年20回>

<太鼓指導・年12回>…3歳児～5歳児

<えいご・年24回>…2歳児～5歳児

11 保護者に向けて

- ・年間行事は通常通りの開催に戻し、保護者の方に参加していただく中で、子どもたちの姿を見ていただきました。
- ・ドキュメンテーションを取り入れ、日々のねらいや取り組みの様子を写真で保護者の方に伝え、コミュニケーションを広げてきました。
- ・重要事項説明書について、前年度からの変更点について、説明文とともに保護者に配布し、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明を個別に行う中で説明を行い、署名捺印をいただき、割り印押印したのち保護者と園で卒園まで保管します。
- ・緊急時防災メールや掲示板の利用登録を保護者、職員にお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子をテストメールとして発信し、既読確認を行い伝達漏れがないよう努めました。
- ・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させ、すぐにできるものは都度、見直しが必要なものについては次年度に取り入れられるよう対応してきました。
- ・懇談会・保育参観は、来園する方の人数制限や時間の割り振りをを行いながら、お子さんたちの姿を見ていただく機会を設けました。
- ・年1回の個人面談では、園や家庭での様子を伝え、子どもたちに対して同じ視点で関わるができるよう共通理解を図りました。
- ・保護者へのお知らせについて、連絡ノート・連絡帳・連絡ボードを利用し、園での様子やご家庭での様子を共有しながら、保護者との信頼関係を築いていけるよう取り組みました。
- ・保護者の方の不安や、ご意見等についても職員間で共有し、内容によって担任・主任・副園長・園長が話し、早めの対応に心がけました。
- ・保護者の方の表情や態度、声のトーンなど、出来るだけ早くキャッチして、職員から声をかけコミュニケーションを取る中で、日常の保護者に対する支援に努めてきました。

<毎月1日発行>

園だより ・クラスだより ・保健だより ・給食だより

<月末に発行>

献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・アレルギー児食・おやつ・補食・夕食）

12 職員・園務

- ・就学する小学校と連絡を取り、子どもたちの様子を伝えて、安心して就学出来るよう、連携を図ってきました。
- ・職員の処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ、職員処遇改善費は計画書の届け出を行い、職員に対して賃金の改善を図るとともに、処遇改善等加算Ⅱについてはキャリアアップ研修への参加に努めました。
- ・育児短時間勤務 3名

＜その他＞

- ・業務災害総合保険（AIG）引き続き加入し、職員の負担軽減に努めました。
- ・福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済（はまフレンド）に加入し、福利厚生を強めてきました。

13 令和5年度研修内容

参加した研修については、会議で報告し、日々の保育の中に取り入れ活かしてきました。

キャリアアップ研修については、対象職員を中心に経験年数等を含め、研修を受講してきました。

【令和5年度研修内容】

主 催	内 容	人 数
横浜市子ども青少年局	横浜保育・教育宣言	1名
	子どもの心に寄り添うカウンセリング研究会	1名
	口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修	1名
	保育の質を高める為の保育者のセルフマネジメント	1名
横浜市 幼保小教育交流事業	自分と人と地球を大切に人々をどう育てるか	1名
	公開保育（中川小学校）	1名
都筑区子育てネットワーク	子育て支援	2名
横浜市公立保育園	わらべ歌	1名
独）労働者健康安全機構	両立支援コーディネーター養成講座	1名

【令和5年度キャリアアップ研修】

主 催	内 容	人 数
横浜市子ども青少年局	幼児保育	1名
	保護者支援	1名
	乳児保育	1名
	障害児保育	1名
横浜女子短期	幼児保育	1名
	障害児保育	1名

【園主導園内研修】

主 催	内 容	人 数
株式会社 フォックスブルー	危機管理について	18名
	救急法・幼児安全法	17名



令和5年度 千丸台保育園 事業報告

定員100名 (在籍 104名)

1 施設運営状況

令和5年度は、年度初めから0歳児が定員(9名)+定員外(2名)と在籍いっぱいでのスタートとなった為、横浜市からの委託費が予算よりも上回り、安定した運営かつゆとりを持って運営する事ができました。また横浜市からの補助金を活用し、防災用具(防災シューズ・ネックライト)を購入し、災害に備え準備をすすめる事ができました。

前年度、人件費に多く支出があった事から体制を見直し、今年度は人件費を抑え職員体制の工夫しながら運営をする事ができ、ICT化を進める事で共に業務の効率化へとつながりました。

ICT化へは横浜市の『業務効率化推進事業』の補助金を活用し、各クラスにパソコンを購入しました。業務効率化することにより職員同士の情報共有する時間や休憩の確保につながり働きやすい環境作りに取り組む事ができました。

10月26日には『横浜市一般指導監査(施設)』が行われました。大きな指摘はありませんでしたが、職員配置や適切な保育運営の確認があり、新たに気付く点やより良い保育をすすめていくアドバイスをいただきました。

2 利用者支援状況

令和5年度は4月1日より0歳児が11名と空きのない状態で賑やかなスタートとなりました。また幼児クラスの空きも少なく令和になり初めて定員100名を超えた園児をお預かりしました。

保育内容では新型コロナウイルス感染症が5月より5類移行となったことから少しずつではありますが、以前の生活が戻ってきたように感じます。保育の幅も広がり、今年度は新しい試みとして外部の方に依頼した『打楽器コンサート』や地域の方と共に『クリスマス会』を行いました。地域に根差した保育を展開する事ができ、多くの行事を楽しむ事ができました。

また保護者の方ともコミュニケーションを大切に日常の会話や懇談会・個人面談で子どもたちの成長を共有知る事が出来たと思います。

【年間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	52	52	52	52	53	54	54	54	54	54	52	52	635	53
女児	49	51	51	51	51	51	51	51	51	51	52	52	612	51
計	101	103	103	103	104	105	105	105	105	105	104	104	1,247	104

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	11	15	18	18	17	18	97
令和2年度	11	15	17	17	20	17	97
令和3年度	11	15	18	17	17	21	99
令和4年度	11	15	18	17	20	18	99
令和5年度	11	15	18	19	20	21	104

3 職員の状況

令和5年度スタート時において昨年度より在籍する職員が減るなかであっても職員の協力を得て、安心・安全な、保育運営ができるよう体制を工夫する事や、職員一人ひとりが役割と責任を自覚して業務改善に取り組みました。また姉妹園の行事を見学し、他園のやり方を学び自園での活かし方を見出し研修に努める事や、経験7年以上の職員はキャリアアップ研修に臨み、多くの学びを得ることができスキルアップの向上に繋げることができました。

職名	令和5年4月1日の職員数				年間退任・就任											
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員	有期契約職員								就任計	退任計
		契約職員	非常勤A	非常勤B			契約職員		非常勤A		非常勤B					
							就任	退任	就任	退任	就任	退任				
園長	1			1												
副園長	1			1												
保育士	19		13	32	2	2							3	2	5	
看護師	1			1												
栄養士	3			3												
調理員	2		2	4												
事務員	1			1												
保育補助			2	2												
用務																
嘱託医			2	2												
計	28	0	0	17	45	2	2	0	0	0	0	0	0	3	2	5

※臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

※嘱託医は職員計に含まず。

4 施設整備状況

◎給食室のスチームコンベクションオーブンが設置から14年が経過しており、焼きむらなども見られることから新しくリースを組み入れ替えしました。また冷蔵庫も13年が経過しておりスチームコンベクションオーブンと共に入れ替えを行いました。冷蔵庫は野菜が多く入るように一回り大型の6ドアの大型冷蔵庫にし、収納量もアップしました。



給食室(大型冷蔵庫・スチームコンベクションオーブン)

◎園庭の安全対策として大型遊具の滑り台下やコンクリートの危険個所に JS コーティング(緑色の部分)で保護をしました。頭部打撲や大きな怪我に繋がらないように対策を行いました。



安全対策(JS コーティング)

5 年間行事報告

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 4.3 入園式・進級式 | 10.20 園外保育 |
| 4.25 子どもの日の会 | 10.25 内科健診 |
| 4.27 歯科健診(1回目) | 10.31 ハロウィン |
| 5.1 茶摘み | 11.9 人形劇 |
| 5.15 第19回 開所記念日 | 11.17 焼き芋会 |
| 5.24 内科健診 | 11.21 大根抜き |
| 5.24 さつまいも苗植え | 12.9 お楽しみ会 |
| 6.21 じゃがいも掘り | 12.15 歯科健診(2回目) |
| 6.29 プール開き | 12.21 おもちつき |
| 7.7 七夕の会 | 12.25 クリスマス会 |
| 7.28 チャレンジわくわく会 | 1.9 川島囃子『獅子舞』 |
| 8.3 交通安全教室 | 1.11 お正月遊びの会 |
| 8.10~16 夏期合同保育 | 2.2 節分の会 |

8.25 夏まつり
 9.6 プール納め
 9.12 大根の種まき
 9.15 敬老の日の会
 10.7 運動会
 10.12 総合防災訓練
 10.18 打楽器コンサート
 10.19 歯科健診(2回目)

3.1 ひな祭りの会
 3.6 お別れ遠足
 3.7 ベイスターズ野球教室
 3.8 大きくなったねの会
 3.19 卒園式
 3.28 お花見会食
 3.29 進級式



『打楽器コンサート』



ベイスターズ野球教室



クリスマス会

- * 誕生会 毎月、月末に行う。
- * 体操教室(幼児) 月2回第2・4金曜日…総合体育研究所神奈川 鈴木先生(外部講師)
- * リズム遊び(幼児)週1回…広いスペース(ホール)にて異年齢で行う(3~5歳)。
- * 個人面談 希望する家庭のみ、園での様子をお伝えしたり家庭での様子をお聞きしたりしました。
- * 懇談会については、クラスごとに集まり顔を合わせて懇談することができました。

6 健康管理

今年度は園内の感染症状況を園の入り口門に『保健のお知らせボード』を掲示し、保護者の方に見やすく注意喚起をして周知しました。

年間を通して看護師が子どもたちに保健指導(手洗い指導・セルフケア指導)を

◎今年度、園児の健診・検査は下記の通りです。

- ・内科健診：年2回…5月24日(水)・10月25日(水)
- ・歯科健診：年2回…4月27日(木)・10月19日(木)
- ・視聴覚検査：対象3歳児…10月2日(月)~3日(火)
- ・尿検査：対象3・4・5歳児・年1回 1次回収6月23日(金)・2次回収6月27日(火)
- ・全園児対象に身体測定(月1回)、爪検査・頭髪検査を(毎週1回月曜日・頭じらみの予防)
- * 布団乾燥 2ヶ月に1回(奇数月)の土曜日に行いました。
- * 害虫駆除 年2回…9月28日(木)・3月12日(火)に行いました。

職員は定期診断(年1回)及び全職員の細菌検査(毎月)・給食室職員は2回(6月~9月…食中毒流行の季節)(11月~3月…ノロウィルス検査をランダムで2名ずつ)を実施し、『健康チェック表』に体調を記入し、健康管理に努めました。体調が優れないときは早期に受診し、回復に努めました。

7 栄養管理

栄養士による『食育指導』を取り入れ、子どもたちは身支度をし、自分たちで収穫した野菜を調理したり、ポップコーン用の実を外したりと楽しみながら取り組みました。

また昼食時は栄養士が各保育室を巡回し、食べ状況の把握をしたり子どもたちからの感想を聞いたり次の献立に活かすようにしています。



食育 『ナス炒め』 🍆



食育 『ポップコーン作り』 🍿

8 衛生管理

*おもちゃの消毒や保育室の清掃・消毒をこまめに行い、感染症拡大防止に努めました。

子どもたちには手洗いの徹底のため、幼児クラスには看護師から『手洗い指導』をし、丁寧に洗えるよう促しました。

9 安全管理

*防災訓練：毎月1回避難訓練(地震・火災・防犯・水害・土砂・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施しました。災害時にも使用できるIP無線機を各クラス1台ずつ持参し、人数報告や連絡手段として活用しています。

*園外へ出かける際は、必ず事務所職員にて人数確認を行い、担任とダブルチェックをしています。また帰園時にも事務所職員と人数確認をするように徹底しています。

*防災設備点検を年2回(4月・10月)実施し、保土ヶ谷区消防署に書類の提出をしました。

*怪我があった際は『アクシデントレポート』で報告をし、再発防止に向けて職員で共有しました。職員の意見を基に安全策を見出し、安全に保育ができるように努めた。

*園庭での遊具などにぶつかり怪我をする事故が続いたので、大きな怪我に繋がらないようにJSコーティングのクッション材を設置しました。

10 特別保育事業の実施

◎一時保育事業

乳児クラス(0~2歳児)のご利用が日々入っており、非定型での利用の為安定した収入がありました。令和5年度より、子育て世帯のニーズに合わせて受け入れをしていけるよう、『横浜市一時預かりWEB予約システム』の登録をお願いし、個別に予約を受け付けることにしました。

◎地域交流活動

園の行事に地域の親子をお誘いし、園児と共に楽しみました。その際に園の広報が出来た為、毎週木曜日の園庭開放には昨年度より多くの親子に利用していただきました。

11 保護者に向けて

*毎月発行している園だより・献立を園メールにて保護者にお知らせしています。また日常のお知らせなどもメールでお送りし、紙ベースだったものは電子化して送信しています。

また懇談会では保護者の方に園に来ていただき顔を合わせて懇談する事ができました。コロナ禍よりもコミュニケーションを取り、子どもたちの成長を共有する事ができました。

12 職員・園務

*7年以上の経験のある職員は『キャリアアップ研修』に参加し、研鑽しました。

主催	研修	人数
ニシハタシステム	防災カンファレンス	2名
	キャリアアップ研修 <幼児教育> <マネジメント> <保護者支援・子育て支援> <食育・アレルギー対応> <乳児保育> <障害児保育>	2名 1名 1名 1名 1名 2名
サラヤ	保育施設における環境整備	22名
ジャクエツ	安全セミナー	2名
横浜市こども青少年局	子どもの人権に配慮した保育研修	1名
横浜市こども青少年局	幼保小接続期研修	3名
保土ヶ谷区こども家庭支援課	5区合同研修『みんなで歌おうみんなで楽しもう』	1名
保土ヶ谷区	すこやか子育て講演会	1名
横浜市私立保育園子ども園園長会	ホスピタリティ研修	1名
横浜市医師会	障害のある子どもの疾患と特徴と成長発達の特徴	1名
ベネッセコーポレーション	子どもってこんなにオモシロイ!	1名

園内研修

職員会議	人権研修『子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり』	横浜市 動画研修	保育士
	物事を強要するようなかかわり、脅迫的な言葉がけ	横浜市 動画研修	保育士
	罰を与える・乱暴なかかわり	横浜市 動画研修	保育士
	一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	横浜市 動画研修	保育士

13 その他

*10月26日(木)AM 横浜市一般指導監査(施設)の為、こども青少年局監査課が来園しました。

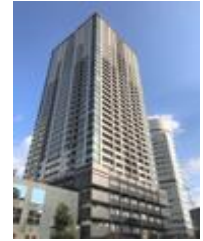
前回の指摘事項の改善や保育室を巡回し、安全面の確認が主となりました。

土曜日の朝・夕の体制に改善が必要となり、すぐに見直し・修正しました。



令和5年度 横浜みなとみらい保育園 事業報告

定員120名 (在籍133名)



1 施設運営状況

はじめに

社会情勢が刻々と変化し、新型コロナウイルス感染症の対応も5類移行へ向けての過渡期を迎え、マスクの着用も任意となり、大人も子どもも表情が見えることの大切さを改めて感じました。しかしながら、日々の保育・各種行事の開催については、まだまだ状況を見ながら開催方法を検討しながらの一年でした。

収入に関しては、年間を通し入所状況が安定していたため、全体的には安定した収入を得ることができました。また、延長保育事業は徐々に利用も増え始めましたが、保護者の働き方も変わり、コロナ禍以前のような利用はなくなりつつあります。

支出に関しては、まず、支出の多くを占める人件費にですが、途中退職や休職者がいましたが、補充できないまま何とかやりくりした分、人件費は抑えることができましたが、水道光熱費や食材費も高騰の波が止まらず、節電や食材の変更や工夫を余儀なくされました。

2 利用者支援状況

感染症が、緩和されましたが、看護師中心に感染防止対策に努めながらの保育を行いました。園生活も「withコロナ」として新型コロナウイルス感染症と上手に向き合いながら安全・安心の運営に努めました。

○より良い保育に向けて

自分たちの保育を振り返るため、また、新しい知識を習得するために研修を積極的に受け、他の職員にも周知することに努め、丁寧な保育を心掛けました。そして、子どもたちが楽しく、保護者の方々にも安心して預けていただけるよう努めました。

○園行事・地域との連携について

地域のお祭りに近隣保育園と参加の計画でしたが、雨天のため他の保育園との交流はできませんでしたが、地域の方は園に来られ、お神輿を担ぐ様子を見ていかれ、お土産をいただきました。

園主催の行事は人数制限を設けましたが、参観・参加していただきました。なお、大きな行事に関してはZoom配信等も利用し遠方の祖父母の方にも見ていただけるようにしました。

卒園児保護者と協力し、「ニコニコバザー」を行い、収益金をこども医療センターへ寄付させていただきました。また、バザーで残った商品は、「古着でワクチンプロジェクト」に送り15人分のワクチンに協力することができました。

未就園児対象に行ってきた地域交流保育も低年齢化に合わせ、対象年齢を2歳児から1歳児に引き下げ「1歳児と遊ぼう」として行いました。

○一時保育について

当園の収入面で大きな割合を占める一時保育事業も、多くの方にご利用していただけるように事前登録も日に2回に増やしたことで、昨年度より登録・利用実績も伸びてきました。

○保育士養成校の保育実習、中高生のボランティアの受け入れについて

近隣にあった保育士養成校も縮小され、受け入れる実習生の数も縮小してきました。次世代を育てるためにも養成校と密に情報交換しながら、今後も積極的に受け入れていきたいと思ひます。

○幼保小連携・配慮児支援について

配慮・援助を要する子どもたちに関しては中部・東部療育センターと民間の支援施設を併用する家庭も増え、園での様子を第三者の目で見えていただき家庭・保育園・支援施設で情報共有しながら、子どもたちの支援に努めてきました。

幼保小連携は学区である平沼小学校を中心に子どもたちの交流や担当職員同士の情報交換を行いました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	62	63	63	63	63	63	62	63	63	63	63	63	754	63
女児	70	71	69	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840	70
計	132	134	132	133	133	133	132	133	133	133	133	133	1594	133

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	20	22	23	19	23	23	130
令和2年度	20	22	23	23	22	22	132
令和3年度	19	21	23	23	22	21	129
令和4年度	20	22	23	23	24	23	135
令和5年度	20	22	23	23	23	22	133

3 職員の状況

今年度は産休取得者に加え、退職者や急遽な途中退職者も出てしまい、職員採用に努めてきましたが、採用に結びつかない状況でした。退職者においては定期的に産業医と面談し、短時間勤務や固定勤務をすることによって、スムーズに復職できるよう支援しました。

職名	令和5年4月1日の職員数					年間退任・就任												
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員	有期契約職員								就任計	退任計		
		契約職員	非常勤A	非常勤B			契約職員		非常勤A		非常勤B		就任計	退任計				
							就任	退任	就任	退任	就任	退任						
園長	1				1													
副園長																		
保育士	29		4	5	38	7	5						2	2	9	7		
看護師	1				1													
栄養士	4				4													
調理員	2			1	3					1					1			
事務員	1				1													
保育補助				2	2					1			1	2	2	2		
嘱託医				1	1													
産業医				1	1													
計	38	0	4	8	50	7	5	0	0	2	0	3	4	12	9			

※非常勤職員の内非常勤 Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇入れられた時間給職員、非常

勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇入れられた時間給職員です。

※嘱託医・産業医は職員計に含まず

4 施設整備状況

- * 経年劣化に伴い、給食室の食洗器、スチームコンベクションを新規リース契約し、入れ替えを行いました。また、同じく経年劣化に伴い冷蔵庫・冷凍庫も入れ替えを行いました。
- * ICT化に伴い、各保育室に中継器を設置しました。
- * 衛生環境の整備として、ごみ箱を蓋つきのペダル始期に買い替えました。
- * 幼児の防災頭巾をよりフィットしてかぶりやすいキャップ式に変更しました。
- * 横浜市の巡回相談をうけ、施設内の安全確認を行い、玄関ドア手指巻き込み防止ネットを付けました。
- * 防犯カメラとモニターの交換工事を行い、園庭も死角ができないようアングル調整しました。

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月1日	入園式	10月20日	幼児園外保育
4月21日	子どもの日を祝う会	10月31日	わいわい仮装パーティー
	誕生会（毎月）	※	保育参観週間（全クラス開催）
	避難訓練（毎月）	11月3日	西区民祭り（園児参加は取りやめ）
	懇談会（各クラス）	11月14日	1歳児と遊ぼう会（地域交流保育）
	※ おはなし会（2歳児～5歳児（月1回））	12月9日	生活発表会（3部制開催）
	※ 体育指導（幼児 月2回）	12月15日	もちつき会
	※ 英語指導（2～5歳児 月1回）	12月22日	お楽しみ会
5月19日	春の園外保育（幼児）		3～5歳児手洗い指導
5月18日	開園記念日（16周年）	1月9日	お正月遊びの会
5月26日	MM祭り	1月12日	繭玉団子作り（5歳児）
	※ 園児内科健診（全園児年2回）	1月18日	打楽器コンサート
	※ 尿検査（3・4・5歳児）	1月19日	5歳児懇談会
6月6日	プール開き		おやつ試食会は中止
6月13日	歯科健診（全園児 年2回）	2月2日	節分会
	※ 保育参観・試食会（各クラス）	2月6日	制作遊びの会
	※ 歯磨き指導（3～5歳児・赤染体験）中止		懇談会・おやつ試食会（0.2.3.4歳児）
6月23日 ～24日	お泊り保育（5歳児）	2月13日	入園説明会（新入園児）
		2月14日	いのちの授業（5歳児児）
7月7日	七夕会	2月15日	就学前の交通安全指導（5歳児）
8月31日	プール納め	2月17日	お別れ遠足（5歳児親子）
9月1日	総合防災訓練	3月1日	ひなまつり会
9月4日	平沼水天宮例大祭子ども神輿	3月12日	お別れ会
9月15日	敬老の日を祝う会 中止	3月16日	卒園式（式典は縮小し茶話会中止）
10月14日	第16回運動会（平沼小学校校庭）	3月29日	進級式

6 健康管理

入園する際、看護師が作成した「健康と安全のためのお知らせ」と「子どもの睡眠が成長に与える影

響」の冊子を配布し、保護者とともに健康管理ができるように努めました。

また、普段から登園時には手洗いの曲をホールに流して親子で手洗いをしてから保育室に入るなど感染症対策の意識づけは行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を受け看護師による「咳エチケット」や「手洗い指導」を行い更なる意識づけを行いました。

- ・園児（年2回）・職員（年1回）の定期健診及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。
- ・給食職員にはノロウイルスの細菌検査を別途実施しました。（11月～3月）
- ・職員のインフルエンザ予防接種・新型コロナワクチン接種の実施
- ・看護師からのお知らせボードに感染症の状況等を掲示し、保護者への情報発信を行いました。
- ・健康管理には最善の注意を払い、感染症については保護者にも周知することで、拡散は防げた。

＜産業医の選任＞

産業医を選任し、安全衛生委員会を毎月一回開催し職員の残業時間や年休取得率の確認や職場巡視を行い別の視点で安全な職場環境作りや改善に努めた。

また、休職中の職員との面談等行っていただくことで、スムーズな仕事復帰に繋がった。

7 栄養管理

給食目標 <おいしく たのしく げんきになろう>

- * 子どもたちが健やかに育つために年齢（月齢）・成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食の実施
- * 3歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育を利用する児には補食や夕食の提供
- * アレルギー児へは生活管理指導票に基づきの除去食の提供
また、アレルギー児を持つ保護者には誤食を防ぐためにダブルチェックとし、次月の献立会議後、献立表の確認及び確認印をいただくようにしました。
- * 離乳食、給食、おやつ、捕食、夕食は事務所前のサンプルケースに基準量で展示し、保護者にも伝わりやすいようにし、毎月の給食だよりには人気給食のレシピ掲載
- * 毎月、郷土料理を取り入れ、由来やレシピも記載していきました。
- * 捕食・夕食に関しては除去食で献立を作成することで、アレルギー児の捕食・夕食の希望が出ても対応できるようにしました。
- * 離乳食に関しては園で使用する食材表を保護者と確認しながら個々の成長に合わせて進めていくようにしました。
- * 節々の行事では行事食が提供され、子どもたちもとても喜んで食べています。また、今年度も給食やおやつの試食会はコロナ禍になり行うことができませんでしたが、子どもたちがより食に興味を持てるようにプランター栽培等を通して食育活動を続けました。



8 衛生管理

- * 保育室
 - ・クローラ水やアルコールを使用し掃除や消毒に努めました。
 - ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し二次感染の防止に努めました。
 - ・各クラスに除菌BOXを設置し玩具の消毒に努めました。

* 給食室

- ・衛生チェック表に基づき日々衛生・確認に努めました。
- ・食器洗浄後、熱風庫にて保管
- ・食材の原材料・調理済み食品の保管（2週間）

* 施設

- ・年間2回の害虫駆除（6月・12月）を行いました。

9 安全管理

- ・交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることが出来た。また、普段のお散歩（園外保育）の際にも交通ルールの確認を行うことで、子どもたちにも意識できるようにしました。年長児には別途就学前に、交通安全教室を行い、安全に通学できるよう指導を受けた。
- ・防犯訓練、毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施し、西消防署の方に実際の訓練を見ていただき改善点やアドバイスをいただくことで職員も訓練の内容等を確認することができた。また、近年大きな地震が続いているため、起震車体験を行い、改めてまずは、しっかり身の安全を確保しなければならない大切さを再認識した。
- ・安全計画、消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保・保管場所や備蓄品の内容を全職員が把握できるよう努めました。
- ・安全チェックシートに基づき、各保育室・園庭・ホール・等の安全点検を月に1度行いました。
- ・自主点検表に基づき閉園時の安全確認を行いました。
- ・災害時の際、より確実に連絡体制が取れるようIP無線を普段の園外保育の際にも携帯し、各職員が使用できるように努めました。
- ・災害時に通常のミルクを提供できないことを想定し液体ミルクを常備し、0歳児クラスで入園される家庭には入園前の説明会に試食品を各家庭に配布し入園前に試していただくようお願いしました。
- ・日々の園外保育では安全な散歩ルートを乳児用・幼児用で作成し、その基本ルートを外れる際は連絡を入れる、ポイントごとでの人数確認をしっかりと行う。

10 特別保育事業の実施

<一時保育事業>

年度	延べ利用 児童数（人）	助成額（円）
令和元年度	2,309	12,472,160
令和2年度	1,222	6,876,180
令和3年度	1,734	9,122,840
令和4年度	1,731	9,211,020
令和5年度	2,068	14,710,262

感染症の緩和と共に一時保育の利用者が増えてきました。感染症対策に努めながら、できる限り受け入れる体制を作り、昨年よりも約300人増となり、延べの利用者も2,000人を超えました。

低年齢のお預け希望が多い為、昨年度までは生後6か月からのからの受け入れを生後5か月からの受け入れ枠を広げ、また、利用者数を増やすために、事前登録の回数を増やしました。

<地域子育て支援事業>

- * 園庭開放：月～金 10：30～15：00（夏季は水遊びも可）
- * 貸し出し図書：月～木
- * 育児相談：月～金 10：30～15：00
- * 西区第5地区の園長たちで地域の方の赤ちゃん会に参加させていただき、育児相談や園の紹介等行

いました。

< 障がい児保育事業 >

- * 障害児認定のこどもについては、加配の職員を配置し、支援が必要な子どもに関しては関係機関・保護者の方と連携をとりながら、他の子どもたちとの生活を通して、ともにできるよう保育支援を行いました。

< 療育相談・巡回相談 >

- * 中部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深めるとともに、全職員で同じ対応ができるように内容を共有した。

< 延長保育事業 >

- * 認定区分に応じた保育時間を外れる場合、必要に応じて保育支援を行いました。夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

< 産休明け保育 >

- * 生後 57 日からの受け入れを行い、入園後園医による産開け児健診も行いました。

< 外部講師による支援事業 >

- * 体育指導：3~5 歳児 年間 20 回
- * 英語指導：2~5 歳児 月 1 回
- * 習字指導：5 歳児 月 1 回
- * 読み聞かせ：2~5 歳児 月 1 回

11 保護者に向けて

- ・園だよりや保健だより、給食だより、クラスだより、献立表等各種おたよりを メール配信しました。
- ・育児講座の開催（昨年度に続き「しめ縄体験」を行い、お正月飾りを作りました。）
- ・各種行事へのお誘い
- ・第三者委員の設置
- ・保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握
- ・中央図書館のご協力のもと貸出図書の実施
- ・新入園に向けての入園説明会の実施
- ・懇談会の開催や保育参観、保育参観週間を設け、保育を観ていただく機会を多く設けた。



12 職員・園務

- ・有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めることも大切にすることで、地域の方との結びつきに努めました。
- ・地域出前講座への参加
- ・幼保小交流を通して、子どもの育ちの連続性のために、大人の顔が見える関係作りにも努めました。
- ・自治会への参加
- ・西区園長会・子育て支援会議に参加し、情報共有や地域連携に努めました。
- ・西区の子育て支援施設の共通目標である「にこやかに目をかけ手をかけ心かけ」の標語や子育てのヒントの冊子を未就園児の保護者へ配布しました。
- ・西区社会福祉協議会主催の児童分科会に参加し、情報共有や地域連携に努めました。

- ・職員の研修はキャリアアップ研修中心でしたが、参加者が研修で得た知識は園内で伝え合い、園全体の資質の向上に努めました。職員との会話の中から自園の課題を把握し、職員と共に改善に努めました。そして、必要に応じてセルフチェックやチェックリストを行うことで、職員一人ひとりに問題を投げかけ、一緒に考えていくことで、保育の質の維持・向上に努めました。保護者の方には、保護者アンケートの結果から課題を見つけ保育の質の改善につなげるように努めました。

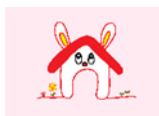
【令和5年度 研修実施記録】

主 催	内 容	人 数
横浜市こども青少年局	保育士キャリアアップ研修 障害児保育講座	1名
横浜市こども青少年局	保育士キャリアアップ研修 乳児保育講座	1名
横浜市こども青少年局	よこはま☆保育・教育宣言研修	1名
横浜市こども青少年局	保育・教育の質を高めるための 保育者のセルフマネジメント研修	1名
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士キャリアアップ研修 乳児保育講座（全5回）	1名
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士キャリアアップ研修 障害児保育講座（全5回）	1名
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士キャリアアップ研修 マネジメント講座（全5回）	1名
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策講座（全5回）	1名
白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	保育士キャリアアップ研修 カウンセリングを活かした保護者対 応講座（全5回）	1名
株式会社リーガルマインド	保育士キャリアアップ研修 障害児保育講座	1名
株式会社リーガルマインド	保育士キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	1名
株式会社リーガルマインド	保育士キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	1名
株式会社リーガルマインド	保育士キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	1名
株式会社リーガルマインド	保育士キャリアアップ研修 マネジメント	1名
株式会社ポピンズ プロフェッショナル	保育士キャリアアップ研修 マネジメント	3名

株式会社ポピンズ プロフェッショナル	保育士キャリアアップ研修 乳児保育	3名
株式会社ポピンズ プロフェッショナル	保育士キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	1名
株式会社ポピンズ プロフェッショナル	保育士キャリアアップ研修 幼児教育	2名
株式会社ポピンズ プロフェッショナル	保育士キャリアアップ研修 障害児保育	1名
横浜市立保育園こども園 園長会	保育士キャリアアップ研修 障害児の発達援助	1名
全国保育協議会	教育・保育施設長ステージアップ研 修 基礎編	1名
西区幼保小 教育交流実行委員会	幼保小交流事業 担当者会議（年2回）	1名
横浜みなとみらい保育園 西消防署・西区消防団	起震車体験	30名
横浜みなとみらい保育園 西消防署・西区消防団	CPR 研修	全職員
横浜みなとみらい保育園 西消防署・西区消防団	CPR 研修 応用編	全職員
横浜みなとみらい保育園	人権研修	全職員
横浜みなとみらい保育園	公衆衛生研修 （講師 産業医中村先生）	全職員
横浜みなとみらい保育園	体育指導研修 （講師：総合体育研究所）	17名

13 その他

- ・ 横浜市の一一般指導監査を令和5年10月26日に受審。
指摘事項はありませんでした。



令和5年度 玉川保育園 事業報告

玉川保育園 定員135名 (在籍 135名)

1 施設運営状況

法人の重点目標である質の高い園経営・運営に努め、職員の資質の向上への取り組みに力をいれ取り組みました。専門・分野別リーダーが実際の保育の中での課題を保育実践に沿った研修やミーティングの実施をしました。実践内容については、課題はありますが、職員の専門性の向上や職員同士のコミュニケーションが増え、人間関係の構築につながりました。地域子育て支援を実施し、地域に開かれた保育園として保育所に課せられた役割の一つとして、自園の子育て支援だけでなく、地域保育園と連携した子育て支援を実施し、地域保育園との連携や専門職としての役割の充実を果たしました。

児童の入所状況については4月当初は1歳・4歳に欠員があり中原区児童家庭課と利用調整をしてきました。5月・7月に1歳児1名、10月に4歳児1名、の入所が決定し在籍が135名になり安定した経営ができました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	76	76	76	77	77	77	78	78	78	78	78	78	927	77.3
女児	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	684	57
計	133	133	133	134	134	134	135	135	135	135	135	135	1611	134.3

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	9	23	25	26	25	26	134
令和2年度	9	23	25	26	26	26	135
令和3年度	9	23	25	25	26	26	134
令和4年度	9	23	25	26	26	26	135
令和5年度	9	24	25	26	25	26	135

2 利用者支援状況

令和4年年度に大規模修繕工事補助金の申請手続きのため川崎市と協議・意見交換をした結果、国と川崎市の予算が通り、令和5年度に大規模修繕工事を実施することになりました。これに伴い年度初めに保護者には大規模修繕工事のお知らせや運動会の開催が9月末実施になる等の変更について理解を得てきました。10月から足場を組んでいくため、町会長・近隣の挨拶や園の前の道路は玉川小学校の通学路になっているため、小学校と通学路の利用についての安全確認をしました。

10月から大規模修繕工事が始まり、修繕期間は足場を組んでの大規模な工事になり、園庭遊びやテラス・中庭での遊びが制限される中、工夫をしながら園児・利用者の安心安全を第一優先に工事を進めて頂きました。

<ペットボトル回収ロボット>



昨年から導入した5歳児のSDGSの取りくみでペットボトルの蓋回収ロボットは、園全体の取り組みとして回収が定着し、園全体で95kgの蓋が集まりワクチン95人分になりました。

3 職員の状況

職員の雇用状況は年度当初は配置人数を確保していたが、療休をとる職員が2名、産休に入る職員がおり、職員体制対応に苦慮しました。

職名	令和5年4月1日の職員数				年間退任・就任											
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						就任計	退任計	
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B				
								就任	退任	就任	退任	就任	退任			
園長	1			1												
保育士	22		3	5	30	2			1						2	1
看護師	1				1											
栄養士	3			1	4	1	1								1	1
調理員	1			1	2											
事務員	1				1											
保育補助			1	2	3											
用務				2	2											
嘱託医				2	2											
計	29	0	4	11	44	3	1	0	1	0	0	0	0	0	3	2

※臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

※嘱託医は職員計に含めず

4 施設整備状況

令和5年度予算の川崎市大規模修繕の申請が確定し、令和5年6月の入札で施工業者が(株)小俣組に決定しました。10月から足場を組み、外壁塗装・外壁タイルの張替工事・屋上防水改修工事・厨房フード補修工事を工程通りに進め、令和6年2月28日に竣工しました。

3月末には民間保育所大規模修繕工事の実績報告を提出し4月中旬に川崎市から補助金が入金され、施工会社の(株)小俣組に支払いをし、修繕工事が終了しました。

屋上防水工事の後、園児が安全に遊べるようにゴムチップの塗装工事を行いました。

- ・令和5年度、監査で園児のプライバシー保護の為、1Fトイレの鍵の取付けの対応依頼があり、取付け工事をしました。

5 年間行事報告

大規模修繕工事の為、運動会の9月実施など配慮しました。

コロナが5類に移行し、行事はお泊り保育や3~5歳児バス遠足は品川水族館を実施をしました。

4月11日	はじめまして集会	12月9日	チャイルドフェスティバル
4月16日	保育説明会・保護者会総会	12月14日	太鼓指導
4月27日	子どもの日集会	12月19日	おもちつき
5月13日	0~5歳児懇談会	12月21日	人形劇
5月19日	5歳児太鼓指導	12月22日	クリスマスバイキング
5月26日	4・5歳児歩き遠足	1月5日	お正月遊びの会・獅子舞
6月7日	プール前健診	1月13日	5歳児懇談会
6月14日	歯科健診	1月19日	平間中学校職業体験
6月20日	5歳児太鼓指導	1月25日	交通安全教室
6月26日	太鼓指導	1月30日	太鼓発表会
6月30日	水遊び開き	2月2日	節分の会
7月7日	七夕集会	2月14日	入園前健診
7月8日	なつまつり	1月6日	お正月遊びの会
8月22日	太鼓指導	1月14日	5歳児懇談会
9月1日	総合防災訓練・引き取り訓練	2月17日	0~4歳児懇談会 一時保育・保育説明会
9月23日	運動会	2月20日	太鼓指導
10月13日	お泊り保育	3月1日	ひなまつり会
10月27日	幼児バス遠足（品川水族館）	3月9日	卒園式
11月4日	親子で遊ぼう会	3月14日	太鼓指導
11月17日	移動動物園	3月27日	お別れ遠足（夢見ヶ崎動物公園）

☆体操教室 月2回 ☆おはなし会 年10回 ☆太鼓指導 年6回 ☆年長交流会 年2回

6 健康管理

○入所時、新年度は予防接種歴、感染症罹患歴、乳幼児健診受診状況と結果、体質やアレルギーの有無等の健康調査を行い、健康面における園生活での配慮事項を家庭と園で連携し対応しました。

○全園児、独立行政法人日本スポーツセンターの災害共済給制度に保護者の同意を確認し、加入手続きをしました。

○園医による定期健康診断を0~1歳児クラスは2か月に1回、2歳児以上のクラスは年2回実施しました。

- 園医による年1回の歯科検診を実施しました。
- 予防接種については、川崎市から保護者宛ての「予防接種のすすめ」という配布文書とともに重要性について、入園説明会や保育説明会、懇談会、ほけんだよりを通して啓発しました。
- 月1回ほけんだよりを発行、6月と11月は臨時号として季節の健康情報を発信しました。
- 除去食・与薬等の対応が必要な園児において、川崎市保育所入所児童等健康管理委員会への申請を必要時と定期（6か月ごと）に実施しました。
- 月1回身体測定を行い、身長体重曲線を参考に評価し、バランスにおいて逸脱がみられる場合は園医や栄養士と連携して指導しました。
- 保育園サーベイランスシステムを活用し、感染症発生状況を早期に探知・共有し、対策を講じることで子ども達の健康被害の発生を最小限にすることに努めました。
- 感染症の流行や集団発生時には、直ちに川崎市保育課、中原区保育子育て総合支援センターおよび衛生課、園医と連携し、感染症拡大・蔓延防止に努めました。
- 流行性疾患発生時は個人情報に配慮しながら、発生とその状況をすみやかに保護者に周知しました。
- 毎週月曜日に頭髪検査、爪のチェックを行い、アタマジラミの早期発見と対応、ひっかき等による怪我防止に努めました。
- 夏季は暑さ指数や光化学スモッグ注意報の発令状況を参考に、紫外線対策、熱中症対策について指導を行いました。
- 保育中の、急な体調変化も家庭と連携をとり対応しました。また、怪我等については園での応急手当をし、必要な場合は医療機関を受診して対応しました。医療機関を受診した場合は、川崎市保育課に速やかに事故発生報告書を提出しました。
- 年間計画に沿って保健指導を実施しました。
- 保護者からの健康相談について随時対応しました。
- 地域子育て支援事業の「たんぼひろば」を新たな形で再開し、健康講座や健康相談を実施しました。
- 地域子育て支援事業の「おひさまひろば」で身体測定や健康相談を実施しました。
- 入園前健診を園医と連携し、実施しました。
- 継続的によりよい保健活動への改善につなげるため、期ごとに評価し、取り組むようにしました。
- 全職員年1回の定期健康診断を受診しました。
- がん検診、婦人科検診、骨密度検査等の普及啓発を行い、職員の健康保持増進に努めました。
- 職員の予防接種状況や既往の確認、希望に応じて健康相談を実施しました。
- 関係機関からの指示のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。

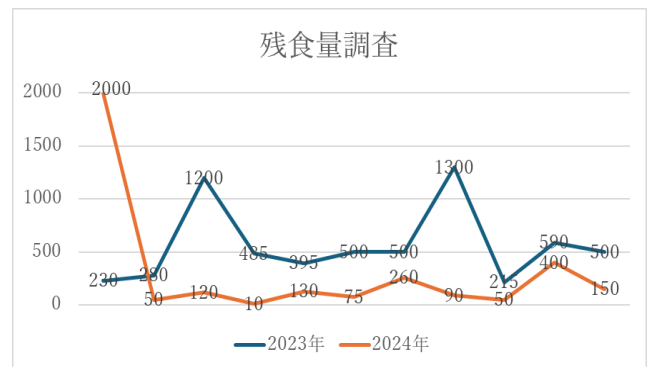
7 栄養管理

- 「食育計画」をもとに栄養士・看護師・保育士が連携を図り食育活動を実施しました。
- 「献立年間計画」をもとにアレルギーフリーの献立作成を実施しました。
- 年2回の給与栄養量の見直し作成をしました。

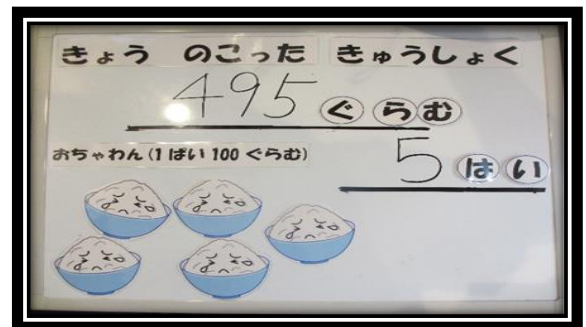
- 災害時非常食の見直しを実施しました。
- 子育て支援たんぼ広場を年2回実施しました。
- 0歳児クラス離乳食ノートを活用し保護者との連携に努めました。
- 0歳児離乳食食材チェック表を見直し作成しました。
- 0歳児クラス・一時保育の粉ミルク受払簿を作成し管理に努めました。
- 調乳マニュアル、調乳時衛生管理を見直し作成しました
- 大量調理マニュアル・HACCPに沿った衛生管理を実施しました。
- 誤飲誤嚥事故防止対策の園内研修を実施しました。
- 「危険な食材・誤飲誤嚥事故防止対策」保育園、家庭と共通認識の為、おうちえんにて配信しました。
- SDGs活動の取り組みとして園で収穫した夏みかんでジャム作りを実施しました。
- SDGs活動の取り組みとして給食残食計量を行い園児に食物への感謝を育む活動を実施しました。

幼児クラスを中心に残食量を計量し、
SDGS活動を行った結果見えてきた
こと。

- ・園児たちの食べる意欲向上
 - ・嫌いな食べ物でも食べてみる
 - ・完食することへの達成感
 - ・食材・作ってくれた人への感謝の気持ちの育み
- 食育、クッキング活動を実施しました。



- ・動画での食育活動
(魚の食べ方、お箸の持ち方、餅つき由来)
- ・そら豆、とうもろこしの皮むき
- ・年長児クラス給食の米を研ぐ活動 (米研ぎ週間)
- ・梅シロップ作り、包丁の使い方、お泊まり保育
カレー作り、夏みかんジャム作り
- ・旬の食材栄養、地産地消川崎市の梨
- ・お月見団子、米の成長、お節料理、春の七草、大豆の話



8 衛生管理

- 施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除を実施しました。
- 布団交換年度の為、3月に布団交換を実施しました。
- 玄関、各保育室入口にアルコール手指消毒を設置し、手指衛生の徹底に努めました。
- 日常的に整理、整頓、清掃、環境整備を徹底し、健康管理マニュアルに沿った適切な消毒を行い、二次感染の防止に努めました。
- 嘔吐物処理研修を職員に行い、適切な処理による感染の拡大防止に努めました。

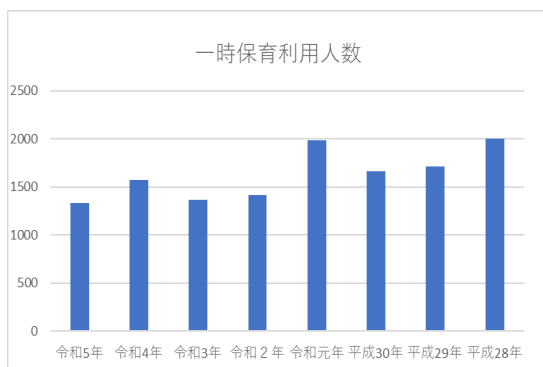
- 保育室は温度計、湿度計で室内環境をチェックし、空調の調整、換気と通風を保つなどの管理をしました。
- 各保育室に空気清浄機、加湿器を設置し、望ましい環境が保持できるように努めました。
- 全職員毎月腸内細菌検査を実施しました。
- 給食室職員は細菌による食中毒が増加する6～9月は月2回腸内細菌検査を実施し、ノロウイルスによる食中毒が増加する11～3月は月1回2名の職員を抽出し、ノロウイルス検査を実施しました。

9 安全管理

- 安全計画・事業継続計画の作成
安全点検、マニュアルや手引き、児童保護者に対する安全指導や訓練・再発防止策の徹底等を明確化し、保育説明会において保護者に周知徹底をしました。
- 防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施しました。
- かながわシェイクアウト（一斉防災行動訓練）参加を実施しました。
- 園舎・園庭の月1回の安全点検を実施しました。
- 交通安全教室は地域保育園との合同で実施しました。
- 応急手当（心肺蘇生法・窒息時の対応等）の職員研修を実施しました。
- 水の事故予防の為、水遊び時監視員の設置をして安全を確保して実施しました。
- SIDS予防のため、午睡時タイマーによる午睡チェックと職員研修を実施しました。
- IP無線機を使用した大規模災害時の本部への連絡や園外保育・避難訓練の連絡、安全確認等を実施しました。
- 月1回の事故チェックリストでの危険事項の確認・ヒヤリハットを書き出し職員全体で周知しました。
年度末には事故の分析表を作成して、事故の起こりやすい年齢、場所、時間、受傷部位等次年度の事故防止意識を職員に周知徹底しました。
- 専門リーダー保健安全衛生グループにより事例を通したCPR研修を行い、救急時の動きの実際を保育の中で確認しました。

10 特別保育事業の実施

<一時保育事業>



年間を通して緊急一時・非定利用で延べ人数1,336人の利用がありました。

令和5年度はコロナが5類に移行し安定した利用があり、900人以上1,500人未満の基本補助額は確定になりました。利用料は昨年より少なくなりましたが、障害児の受入れと川崎市の補填補助があり大きな減収と

一時保育の利用者は非定型契約のお子さんは幼稚園に就学前のお子さんで保育所の入所基準に満た

ない就労をしている利用者の方で占めています。緊急でお預かりするお子さんは地域で出産や家族の入院や中原区児童家庭課地域担当保健師さんからの受入れ依頼があり、地域で子育てに問題を抱えている家庭のお子さんをお預かりして地域の子育て支援として協力をしています。

<地域活動事業>

- ・おひさまひろば月1回第一火曜日開催、たんぽぽひろば年2回連続3回開催をしました。
おひさまひろば延べ77組、たんぽぽひろば16組の親子の利用がありました。
- ・ゆうらくの高年齢者との交流は久しぶりの対面交流となり、5歳児和太鼓演奏や4歳児は歌や手遊びで高齢者との交流を深めました。
- ・園庭開放、貸し出し図書の取り組みは地域親子だけではなく、近隣の園庭の無い認可外保育園にも園庭を開放し、園児との交流を深めました。

<障害児保育事業>

- ・3歳児軽度1名、4歳児軽度1名の受け入れを実施。関係機関、家庭と連携をとりながら個別の指導計画を立て保育を進めました。

<その他>

- ・平間中学校職業体験で学生の受け入れをしました。
- ・玉川小学校町探検小学生5名の受け入れをしました。

11 保護者に向けて

- ・園たより・ほけんたより・給食たより・クラスたよりの発行しました。
- ・保育参加・保育参観の実施をしました。
- ・年度末に保護者アンケートを実施し、保護者の意見・要望等や次年度の課題等、職員に周知徹底しました。
- ・ICT化の一環として各クラスにパソコンを設置し、おうちえん動画による保育中の園児の様子やクラスの様子を配信し、年度末の保護者アンケートでも好評を得ました。

12 職員・園務

10分間ミーティングの実施や人権擁護のセルフチェックの実施をし、子どもの人権擁護の視点から保育の振り返りを実施しました。自分を大切にする心の育ちへの取り組みで園児へのプライベートゾーンの意識付けや伝え方・配慮等を実施しました。

園内・園外研修計画の実施や専門・分野別リーダーが実際の保育の中での課題を解決に向けた保育実践に沿った研修と取り組みを実施した。

○職務別リーダーの取り組み

職務別リーダー	取り組み内容
マネジメント	ミーティング：4回 職員に困っている事、悩んでいる事のアンケートをとる 職員会議等で案件ごとのフィードバックをする

子育て支援	ミーティング：3回 ・園の保護者向け支援 保護者がどんな支援を求めているかを知る ・地域向け支援 地域子育て支援でおひさまひろばやたんぼひろば、園庭開放など実施しているがより参加しやすい方法を考える
障害児保育	ミーティング： 「元気のでるカンファレンス」の実施 配慮が必要なお子さんの対応や集団から外れてしまう子の対応を担当だけが抱えず職員全体で対応できるようカンファレンスし、情報や知識の共有し方向性を決める
食育アレルギー	ミーティング：テーマを決め、職員アンケートを取り食に関する質問をとる 「玉川保育園の給食の基本について」なぜならばを再度知りたいという意見が多かったので、パワーポイントで「玉川保育園の給食の基本」講習を職員向けに開催する SDGS の取り組みで残食のパネルを各クラス使用する 結果、残食量が減った
保健・安全衛生	ミーティング： 毎月誕生会の日 CPR を実施する（年間を通して各クラス 1 回実施） 保育中・園庭遊び等、あらゆることを想定し CPR シミュレーション研修を実施
乳児保育	ミーティング： 大規模修繕工事が始まるので園庭・屋上が使用できないので年間を通して、環境設定・遊びの工夫を考える

【研修実績】

主催	研修名	人数
川崎市子ども未来局保育事業部	マネジメントリーダー	1名
白峰学園「横浜女子短期大学保育センター」	保護者支援・子育て支援リーダー	1名
一般財団川崎市保育士会	保健・安全衛生	2名
ポピンス	食育・アレルギー対応リーダー	3名
中原区	認可保育園園長・認定子ども園連絡運営会議	1名
	認可保育園園長・認定子ども園連絡運営会議	1名
	中原区保育施設長連絡会	1名
	園長・校長連絡会	1名
	主任保育士連絡会	1名
	年長児担当者連絡会	1名
	保健担当者連絡会	1名

	地域子育て支援担当連絡会	1名
	幼保小担当者連絡会	1名
	給食担当者連絡会	1名
	中原区発達相談支援担当者連絡会	1名
川崎市子ども未来局保育事業部	離乳食の口腔内の発達と食事介助	1名
川崎市健康福祉部健康・医療室	0.1.2歳児の保育連続3回講座	2名
	乳児の発達に即した子どもの理解について	1名
	食品衛生と衛生管理について	3名
	食品衛生研修会	2名
	給食担当者実技研修会	1名
	保育と連携した食育	1名
	発達障害保育相談	3名
	こどもの口腔内の発達と食事提供	1名
	低出産体重児相談支援研修	1名
川崎市消防防災指導公社	市民救命養成校講習	1名

13 その他

<令和5年度民間民営指導監査について>

令和5年10月3日（火） 午前9時00分～午後17時00分

川崎市子ども未来局総務部指導監査による実地指導監査が行われました。

○文書指示事項

ア) 感染症への対応（保育内容3-（3）-イ）

出席停止の必要な感染症について、適切に登園許可書を求めること

イ) 委託費の管理・運用（会計23＝（4））

拠点区分間の貸し付けについては、年度内で清算する事

○口頭指示事項：特記事項なし

ア) 施設・設備の状況（運営6-（1））

各乳児室又は匍匐室、保育室又は遊戯室の面積基準を満たすこと

イ) 調理・調乳従事者等の健康・衛生チェック保育内容2-（3）-ウ

調理室内専用の帽子、外衣及び履物を適切に着用し、室外に出る場合は外衣等を交換すること

ウ) 文章指示・口頭指示については改善し、対応しました。



新井小学校放課後キッズクラブ

令和5年度 事業報告

1 活動場所

- ・キッズクラブ教室専用室及び図工室
- ※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました

2 開設時間

- ・月・火・木・金 14:30～19:00
- ・水 13:30～19:00
- ・土 学校休業日 8:30～19:00
- ・長期休業日 8:00～19:00

3 一斉下校時間

- ・3月～9月 17:00
- ・10月～11月・2月 16:30
- ・12月～1月 16:00

4 開設日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
24 (4)	24 (4)	26 (4)	25 (5)	26 (4)	24 (4)	293日 (50日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25 (4)	24 (4)	24 (4)	23 (4)	23 (4)	25 (5)	

()内は土曜開設日数
区分2定員：103人

5 在校生児童数、登録数、登録率

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和4年度	35 (2)	34 (2)	29 (1)	49 (1)	50 (5)	58 (0)	255 (11)
令和5年度 在籍児童数	38 (3)	37 (3)	37 (3)	32 (2)	49 (2)	56 (6)	249 (19)
令和4年度	34 (3)	29 (5)	21 (0)	19 (0)	11 (1)	8 (0)	122 (9)
令和5年度 登録児童数	35 (3)	30 (4)	25 (2)	17 (0)	12 (1)	19 (2)	138 (11)
令和4年度	97.1%	85.2%	72.4%	38.7%	22.0%	13.7%	47.8%
令和5年度 登録率	92.1%	81.0%	67.5%	53.1%	24.4%	33.9%	54.1%

利用延べ児童数 : 8644 人 (内個別 : 1133 人)

() 内は個別児童数※キッズクラブ特別な配慮児童含む 令和 5 年 3 月 31 日現在

- ・ 5 月より、新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴う区分 1 登録児童の限定受け入れ (週 2 回まで、1 回 1 時間から 1 時間半) が解除になり、わくわく区分 (区分 1) 児童の参加が増えました。
- 同時に、ゆうやけ区分 (区分 2A) 登録の児童が、わくわく区分に変更することが増えました。
- ・ 新入生の人数が毎年減少し続けているうえ、卒業生の数が新入生に比べ多いので、令和 5 年度は在籍児童数が昨年比 6 名少ないスタートでしたが、昨年比登録児童数が増え、キッズクラブを利用している児童は、増加しました。

6 職員

(1) 令和 5 年 3 月 31 日時点

職 種	勤務時間
主任 (常勤) 1 名	13:00~19:00 (6 時間)
副主任 (常勤) 1 名	14:00~19:00 (5 時間)
非常勤職員 12 名	平日 5 時間勤務 週 1 日~5 日 土曜・休業日 4 時間~10 時間勤務

・ 平日は 8 名体制をとり、土曜日や長期休業中は午前と午後を 4 名~5 名体制で出勤しました。

(2) 健康管理

- ・ 新型コロナウイルス対策で、職員は毎日の体調管理を「チェック表」に残しました。
- ・ 血圧計を職場に設置し、血圧のチェックが出来るようになりました。
- ・ 非常勤職員が胸部レントゲンを受診しました。
- ・ 細菌検査 (検 便) を毎月、職員が提出しました。
- ・ 感染症予防の為、インフルエンザ注射を受けてもらいました。

(3) 職員会議

- ・ 可能な限り毎月 1 回、職員会議を行い、職員間での情報共有と学校 (児童専任) にも出席して頂き児童の情報交換を行いました。

7 主な行事 (プログラム)

月	主な活動・出来事	イベント	遅帰りクラブ活動	会議等
4	一斉下校 17:00 12 日よりわくわく 区分受け入れ可能	わたがし作り体験 アイロンビーズ 新入生歓迎会 カレンダー作り 宝探し レッツプレイどろけい スマブラ教室 スマブラ王座決定戦	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	春休み 6 日まで 入学式 (4/7) 企画会・職員会議

5	一斉下校 17:00	マイクラ脱出ゲーム シアター レッツプレイリレー アイロンビーズ作り スクイズ作り スマブラ教室 スマブラ王座決定戦 カレンダー作り 巨大迷路	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	企画会・職員会議（以降 8 月を除き月 1 開催）
6	一斉下校 17:00	バルーンアート かご作り スーパーボール作り フェルト石鹸作り レッツプレイ バルーンバレー カレンダー作り スマブラ教室 スマブラ王座決定戦	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	
7	一斉下校 17:00	七夕飾り レッツプレイドッジボール シアター アクセサリー作り 染物体験 カレンダー作り スマブラ王座決定戦 虫捕り ボウリング遠足	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	夏季休業 7/25~8/28 第一回評議会
8	一斉下校 17:00	マリカー王座決定戦 レッツプレイ水鉄砲 シャボン玉遊び シアター 戦争のお話し キッズ怪談 肝試し スマブラ王座決定戦 カレンダー作り	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	参加型イベントにて保護 者会開催
9	一斉下校 17:00	防災訓練 レッツプレイバドミントン 縁日	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ	

		戦闘中 折り紙週間 スマブラ王座決定戦 キッズ運動会 カレンダー作り	動画クラブ	
10	一斉下校 16 ; 30	レッツプレイ バスケットボール 脱出ゲーム シアター プラ板作り スマブラ王座決定戦 カレンダー作り ハロウィン衣装作り ハロウィンパーティー	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	
11	一斉下校 16 : 30	防災訓練 レッツプレイサッカー シアター スケルトンリーフ作り スマブラ王座決定戦 カレンダー作り	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	第一回保護者会（キッズ展） 第一回保護者アンケート
12	一斉下校 16 : 00	クリスマス飾り作り週間 カレンダー作り お正月飾り作り スマブラ王座決定戦 お楽しみ会 大掃除&忘年会	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	年末休業 12/29~31
1	一斉下校 16 : 00	書初め 初もうで お正月遊び週間 防災訓練 レッツプレイ大縄 スマブラ王座決定戦 カレンダー作り お面作り	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	年始休業 1/1~3
2	一斉下校 16 : 30	豆まき レッツプレイしっぽ取り マンガ作り週間 毛玉マスコット作り スマブラ王座決定戦	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	

		カレンダー作り		
3	一斉校 17:00	戦闘中 防災訓練 卒業生ありがとう週間 レッツプレイバレーボール カレンダー作り スマブラ王座決定戦	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	入会説明会&第2回保護者会 第2回評議会

(1) 校外活動

- ・ボウリング遠足、卒業遠足を実施しました。

(2) その他イベント

- ・昨年に引き続き、ウイズコロナを念頭に、感染対策をしたうえで、出来る限り可能なイベントや運営を行いました。

8 保護者関係

- ・保護者参加型イベントを8月「肝試し」に実施し、保護者の方々と交流を図りました。また、3月に保護者会と一緒に入会説明会を開催し、キッズクラブの活動の様子を新入生の保護者の方々にも見て頂く事で、よりキッズクラブの活動について理解して頂くことが出来ました。尚、年度途中に、保護者の方々にアンケートを取り、質問や要望についての回答については、保護者専用アプリ「コドモン」にて掲載、保護者会でも説明する事ができました。

9 学校との連携

- ・校長、副校長、児童専任の3名の方と定期的に打ち合わせを行うだけでなく、毎週職員室へ行き、児童や学校・キッズクラブの情報を交換しました。

10 地域関係

- ・今年度は地域主催の会議や集まりも復活し、交流会や防災拠点訓練等で交流をとれました。またかわりのある団体の代表とは、お電話やお手紙で連絡を取りました。

11 防災対策・防犯対策

- ・火災避難訓練年（2回）
- ・地震避難訓練（年2回）
- ・防犯訓練（年1回）
上記の訓練を不定期で行いました。
- ・下校指導（ほぼ毎日）
子どもたちの下校指導は、職員が必ず行いました。

12 広報関係

- ・毎月キッズ便りを発行し、キッズクラブの情報を保護者や学校にお伝えしました。

13 その他

- ・コロナによる制限が解除され、キッズクラブの活動は、活発に行う傾向へシフトチェンジした、1年間でした。ただ、制限解除や活動内容等の説明が思うように、保護者に伝わってないように感じました。
保護者との溝を少しでも埋めるべく、今年度は11月に保護者と対面する機会を増やしまし

た。思ったよりたくさんの保護者参加があり、少しでも私たち職員の思いが伝わるように対応しました。

令和6年度は、出来る限りの方法を使い、保護者へ情報発信や、交流の機会を作っていきたいと考えてます。